

研修報告

【総務企画委員会】

研修日 2月2日～3日

視察地 愛知県豊川市
静岡県焼津市

テーマ

- ・企業誘致について
- ・公共施設再配置計画及び新庁舎建設等について



豊川市役所にて

豊川市では、分譲用地に特化した独自の企業立地支援制度を新たに創設し、企業用地取得費用の補助や建物の固定資産税相当額の交付などを行

い企業立地にかかる初期投資を支援することによって企業誘致の促進を図っている。また、豊川市、豊橋市、蒲郡市、新城市、田原市の5つの市で広域企業誘致も進めている。



焼津市役所にて

焼津市では、施設の老朽化問題、経営資源のマネジメント、施設別の修繕（予算要求）、施設の利用率の低下、新たなニーズの対応、厳しい財政状況など、公共施設を取り巻く課題を公共施設マネジメントの手法により、資産管理から資産経営に転換を図っている。

【経済土木委員会】

研修日 1月28日～29日

視察地 長野県小布施町
長野県上田市

テーマ

- ・協働と交流のまちづくりについて
- ・「上田道と川の駅おとぎの里」の運営について



小布施町役場にて

まちづくりとは、自分たちが誇れるまち、誇れるものを見つけることも大切であるが、自分たちが誇れても単なる自慢にしかない。基本的な考えは「外からの視点を入れ

る」また、「外から評価のあるようなものをしっかり見つけて、それを発信していくこと」が大事である。さらには、客観的な評価を必ず入れ「次の一手」を連続的に打っていく姿勢を、行政と民間がお互い同じ方向性に向かって作っていくことである。

道と川の駅は物品の販売だけでなく、「防災拠点」や「ドクターヘリ」「消防防災ヘリ」離発着場として活用していた。今回の研修で得た、「外からの目線」を意識したまちづくりを本市でも生かせるよう、取り組んでいきたい。



道と川の駅にて